

## 電子申請・書類作成上の参考

### ■ 電子申請入力上の参考

#### 1 「最終学歴」の国立大学 教員養成課程について

##### 参考：国立の教員養成系教育学部

北海道教育大学教育学部 弘前大学教育学部 岩手大学教育学部 宮城教育大学教育学部 秋田大学教育文化学部(教育学部)  
山形大学教育学部 福島大学教育学部 茨城大学教育学部 宇都宮大学教育学部 群馬大学教育学部 埼玉大学教育学部  
千葉大学教育学部 東京学芸大学教育学部 横浜国立大学教育学部(教育人間科学部) 新潟大学教育学部(教育人間科学部)  
上越教育大学学校教育学部 富山大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学類(教育学部) 福井大学教育学部(教育地域科学部)  
山梨大学教育学部(教育人間科学部) 信州大学教育学部 岐阜大学教育学部 静岡大学教育学部 愛知教育大学教育学部  
三重大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 兵庫教育大学学校教育学部  
神戸大学教育学部 奈良教育大学教育学部 和歌山大学教育学部 鳥取大学教育地域科学部(教育学部) 島根大学教育学部  
岡山大学教育学部 広島大学教育学部(学校教育学部) 山口大学教育学部 鳴門教育大学学校教育学部 徳島大学教育学部  
香川大学教育学部 愛媛大学教育学部 高知大学教育学部 福岡教育大学教育学部 佐賀大学教育学部(文化教育学部)  
長崎大学教育学部 熊本大学教育学部 大分大学教育学部(教育福祉科学部) 宮崎大学教育学部(教育文化学部)  
鹿児島大学教育学部 琉球大学教育学部

#### 2 「所有(取得見込)免許状」について

所有又は取得見込の免許状について全て入力すること。

※「免許状1」に受験に必要な主たる免許状を入力する。ただし、以下の者については、「免許状2」にも次のことを必ず入力すること。

・小学校教諭等(理数枠)出願者	中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの免許状
・小学校教諭等(英語枠)出願者のうち、 中学校英語又は高等学校英語の免許状所有者	いずれかの免許状
・高等学校教諭等(地理歴史)出願者	高等学校公民の免許状
・高等学校教諭等(公民)出願者	高等学校地理歴史の免許状
・中・高を併願する出願者	第2志望の受験に必要な主たる免許状
・特別支援学校出願者	基礎となる小学校、中学校又は高等学校のいずれかの免許状

#### 3 「自己推薦」について

項目ごとに簡潔な文章で記入すること。

「ICTを活用する能力」及び「英語力」については自身で判断すること。

岡山県教育庁教職員課のホームページにある「入力準備シート」を活用ください。

### ■ 特別選考調書<様式ア>(P.20) ※7 特別選考試験のうち、A、B、D、E、F、Gで出願する者

1 ※印欄は記入しないこと。

2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例)特別選考A①の場合は、「A①」と記入

3 I・II欄、【大学担当者の証明】欄について

#### (1) 特別選考A①[英語の資格による特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。

II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。

#### (2) 特別選考A②[英語を母語とする者を対象とした特別選考]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び任用種別(教諭、常勤講師、非常勤講師等)を記入すること。

II 何も記入しないこと。

#### (3) 特別選考B[スポーツの実績による特別選考(中学校・高等学校の保健体育)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす大会名(開催年月)、成績を記入すること。

II 専門競技種目名、所属チーム名、資格(スポーツに関する資格(日本スポーツ協会公認資格等))、大学入学以降の主な競技歴(国際レベルの大会又は全国規模の大会について、その大会名、成績、役職、ポジション、その他特記事項)を記入すること。

#### (4) 特別選考D①[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の工業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校における工業(出願する分野)に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 工業の教諭普通免許状を有しない場合は、工業(出願する分野)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

#### (5) 特別選考D②[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の看護)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)としての勤務歴について、勤務先及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 看護の教諭普通免許状を有しない場合は、看護に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

#### (6) 特別選考D③[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の農業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校における農業に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 農業の教諭普通免許状を有しない場合は、農業に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(7) 特別選考D⑤[民間等のキャリアによる特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における日常的に英語を使用する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。また、特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。
- II 英語の教諭普通免許状を有しない場合は、英語に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(8) 特別選考E①[教職経験者を対象とした特別選考(本県教職経験者)]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす、本県の公立学校(岡山市立を除く。)の教諭等、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。
- II 教諭等としての活動実績(担任歴、校務分掌、特に力を入れて取り組んだ教育活動等)を記入すること。

(9) 特別選考E②[教職経験者を対象とした特別選考(現職教員)]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴(現任校を含む。)について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。(育児・病気等による休業・休職がある場合はその旨も記入すること。)
- II 教諭等としての活動実績(担任歴、校務分掌、特に力を入れて取り組んだ教育活動等)を記入すること。

(10) 特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]の場合

- I 何も記入しないこと。
- II 「教師への道」研修で学んだことや感想を記入すること。

(11) 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす、理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修(予定)期間を記入すること。
- II 何も記入しないこと。

【大学担当者の証明】 出願時に修了見込みの者は、現在履修中の大学担当者が作成したものを提出すること。

■ 特別選考調書<様式イ>(P.21) ※7 特別選考試験のうち、Cで出願する者

- 1 ※印欄は記入しないこと。
- 2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例) 特別選考C①の場合は、「C①」と記入
- 3 【講師経験】欄及び【所属長の推薦】欄について

(1) 特別選考C①[講師経験者を対象とした特別選考(前年度第1次試験合格者)]の場合

【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における令和4年4月1日から令和6年5月14日までの勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員、臨時学校栄養職員、非常勤講師)を記入すること。

【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和6年4月1日から令和6年5月14日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。

なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和6年4月1日から令和7年3月31日)を記入する。

(2) 特別選考C②[講師経験者を対象とした特別選考(経験年数)]の場合

【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における令和2年4月1日から令和6年5月14日までの常勤講師等(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員)及び臨時学校栄養職員(常勤に限る。)としての勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別を記入すること。

【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和6年4月1日から令和6年5月14日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。

なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和6年4月1日から令和7年3月31日)を記入する。

(記入例) C②の場合

勤務学校名	在職期間						在職年数	任用種別	
	年	月	日	年	月	日			
〇〇市立△△小学校	R2	5	25	～	R3	3	31	0年11月	常勤講師
岡山県立〇〇支援学校	R3	4	1	～	R5	7	25	2年4月	実習助手兼講師
岡山県立〇〇高等学校	R6	4	1	～	R6	5	14	0年2月	常勤講師
							合計	3年5月	